

入江さちえ

# 後援会だより

後援会事務所 VOL30  
〒753-0214  
山口市大内御堀4728-4  
TEL 083-923-9703  
FAX 083-924-1263  
<http://www.irie21.com>  
発行人 栗屋 三郎

後援会 会 長 栗屋 三郎

ようやく暖かい春がやってきましたが、皆様方にはお元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

満開の桜の下で花見の宴を楽しまれた方も多かったことでしょう。農家の皆さんは、3月の始めには田づくりに取り掛かっておられましたが、今年も天候に恵まれ、豊かな稔りとなりますよう心から願っております。

さて、この2月、カナダのバンクーバーでは、これまでで最も多い82の国と地域から2600人の選手が参加して冬季オリンピックが開催されました。開会式の様子は、皆さんもテレビでご覧になったことと思いますが、若干長すぎた嫌いはありますものの斬新なものでした。にこやかに自国の旗を振りながらの各国選手の入場、国民が2万人の国から1名の選手が参加しましたという紹介もありました。北朝鮮からもにこやかに参加していました。二週間の競技を終えた閉会式では、競い合ったもの同士が国境を越え、互いの友好を深めあっている様子が映し出されました。やはり世界の人々は誰もみな仲良し、オリンピックの場だけでなく世界中の人々が互いに肩を抱き合う日が必ず来るだろうとの思いを強くしました。しかし、秋季のオリンピックも加え、ずっと以前から二年ごとにこんな思いをしてきたのですが、戦いの無い平和な世界はなかなかやってきません。

さて、入江議員は今回の市議会で二期目、4年の任期を全ういたしました。年4回の定例市議会では必ず質問に立ち、子育ての体験、主婦の目を通して見た問題の提起や地域の自主的な防災体制をはじめとする地域づくりの提案もして参りました。入江さんは、お子さんが学校に入ったときはPTA活動に取り組み、地域のボランティア活動にも積極的に参加するほか、押し花の会、華道など多方面にわたって活動しています。人とのふれあい、絆を大切にしている入江さんの心情が、このような幅広い活動を支えております。

昨年、山口市は「協働のまちづくり条例」を定め、以前の公民館を地域コミュニティーセンターに改め、ここを拠点として市と市民が一緒になって住みよい地域づくりをしようと呼びかけております。最近、そのPR用のマーク「キョードーレッド」も決められました。これからの市政に市民が積極的に参加すること、参加というよりも主体的に働いて欲しいと期待されています。入江さんは、今までの実績から、その中心になって活動してくれることと思います。皆様方のご意向に沿った住みよい地域づくりのため存分に入江さんを使って頂きたいものです。そのためにも是非入江さんを三期目の市議会へ送り出して頂きたく、何とぞ宜しくご支援のほどお願い申し上げます。



キャラクターは赤をイメージカラーに、マフラーのバッジに協働の頭文字「K」、ベルトの金具に山口の「山」をあて、帽子は市民と行政が握手をしている様子を表現したもの。(朝日新聞から)

---

---

## 入江幸江議員寸評

地下（ぢげ）の者の眩き

### 1. 初出場のとき

- (1) 優しい顔でおとなしゅう見えるが、やっぱり親父の血を引いて芯は強いでえー
- (2) 子育てで、保育園、学校のPTA活動を本気にしちよっちゃったし、文化活動も文化協会の理事で、そりゃあー顔は広いでえー
- (3) 地元の古参議員二人が辞めるちゅーことじゃから誰かこの地域から出さんにゃーいけんじゃろー  
(後援会を母体として、これまで培った彼女の人脈などにより見事上位当選)

### 2. 二期目出場

- (1) 旧山口市に4町合併で地域は、どーと広うなったが、議員の数はあまり増えんし大変じゃのおー
- (2) それに先だつての市長選挙で負けた方を彼女は応援しちやたらうー、これがどう響くかじゃ。
- (3) まあーそれでも彼女の一期目は、毎市議会の度に登壇して質問、意見を言う。つい議場に座ちよるだけじゃなかつたでえー。
- (4) 子育て、教育、環境問題には本気で取り組んじよったのおー
- (5) 平素の活動も大内地区はもとより、市内の町や村、山や川の行事にそりゃー小豆（こまめ）に出ちよっちゃった。  
(二期目選挙は、おおむね通るのが当たり前であるが、今回は通常の二期目とは違う障害にもかかわらず上位当選お見事)

### 3. 三期目チャレンジ

- (1) 三度目の出馬が本当の勝負、これまでの議員活動をじっくり評価される選挙じゃから。
- (2) 三期目に当たっては、これまで取り組んできた課題をさらに深め、この問題なら入江議員に相談するといひ、と住民からも、行政からも頼られる議員を目指すことじゃあーの。
- (3) もう一つは、住民と行政を取り次ぐ役目、とりわけ広域行政となった今日、行政と住民の蝶番の仕事は大きいどな。
- (4) 議員は、一期、二期と重ると、次第に知名度が高まるのは当たりまえ。しかし、選挙人は一年ごとに新旧入れ替わっている。(20歳になる者、亡くなる者) 直近の二期目に遡って三期目の新たな選挙人は、当時16歳から19歳の若者である。ゆめゆめ油断大敵、若者への夢を共にもとめてゆくことも怠りなく。

## 私の市政への抱負

入江幸江

### 女性の視点で「夢・知恵・元気」なまちづくりを進めます！

私は7年の議員活動を生かし、「夢」に向かって事業を充実させ、皆様と共に「知恵」を出し合い持続可能な山口市、県央中核都市としての山口市、地域資源が経済資源となるよう「元気」に活動してまいります。

将来を担う子供たちの豊かな心と、確かな学力、たくましく生きる力を身につけるためには国語力が必要と考えております。そのためには読書が欠かせません。学校図書館、地域の図書室等で楽しく学ぶ環境を充実させるために活動します。さらに5項目の抱負を持っています。

**\*地域活力を生み出すまちづくり** \*文化事業の充実 \*教育環境の充実 \*支えあう健やかな暮らしのできるまち \*分権時代にふさわしい議会等、人と自然を大切する社会を推進してまいりたいと考えております。

地下（ぢげ）の方のつぶやきをありがたく受け止め、女性の視点で御期待に添うよう

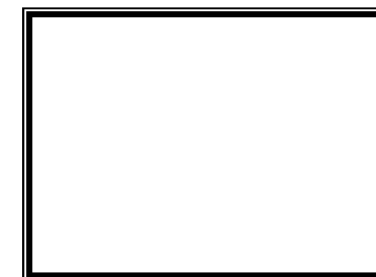
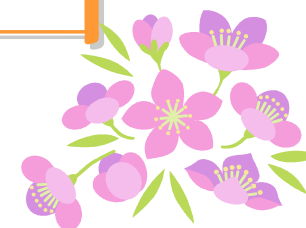
全力で頑張りますので、支援の輪を広げていただきたくよろしくお願い申し上げます。

---

---

# 議会報告

平成 22 年第 1 回山口市議会定例会  
2 月 22 日～3 月 18 日



2 期目の 4 年を終え、このたび最後の議会を迎えました。最初の 1 期を加え、7 年間の市議会議員を務めさせて頂いた間には、二度の市町合併があり、山口県内で最も面積が広く、県内を縦断して島根県境に至る市になるなど、山口市の状況も変わって参りました。

そのような状況を振り返りながら、この度は、次の項目について 22 年度予算との関連も含め質問いたしました。

## 1. 公文書の管理について

合併した 5 町のそれぞれの歴史を物語る資料は、これからも山口市で大切に保存していかなければなりません。山口市の古くからの資料も含め、どのように管理されているのでしょうか。

## 2. 特産品の開発について

合併後の山口市では農・林・水の資源が豊富に生産されています。この資源を活かした山口市らしい特産品の開発に対する支援はどのようなものでしょうか。

## 3. 中山間地域対策について

合併後の山口市は以前にも増して緑豊かになりましたが、この山林資源をどのように活用していくのでしょうか。また高齢化が進むこれらの地域を活性化する手だてはどのようにでしょうか。

## 4. 障害者自立支援の促進について

障害者が自分の住み慣れたところで自立できるための支援をどのように促進されようとしておられますか。

## 1. 公文書の管理について

質問：役所の仕事は全て文書で残されており、政策決定の経緯を知る貴重な歴史資料であります。とくに合併した旧町の資料については慎重な扱いが必要ですが、どのように管理保存がされておりますか。また、これらの資料を市民が自由に活用できる態勢として文書館を設ける意向がありますか。



答弁：渡辺純忠市長 ～文書取扱規程に基づき適切に保存～

公文書は、一般文書、伝票、台帳、函面、写真など多岐にわたっていますが文書取扱規程等により、その重要性に応じて永年または 10 年から 1 年の期間で定められた期間について適切に管理しています。合併以前の公文書は、この規程に基づき各総合支所で管理しております。保存期間を経過したものでも歴史的価値のあるものは市史編さん室に引き継いでおります。本市では、行政に関する情報は誰でも利用できる公共の財産であるという理念に基づく情報公開条例により公開しております。現在各所で保存いたしております公文書の確実な管理保存に務め、今後市民の皆さんへの公開が可能となるよう市立図書館の活用等も含め研究して参りたいと考えております。

## 2. 特産品の開発等について

質問：22 年度予算では、「山口市らしい特産品」の開発に支援するとありますが、どのような開発を対象とされるのでしょうか。

また、「観光ブランドの創出」を図る事業を商工会議所に委託されようとしていますが、どのようなものですか。

次いで、山口市にある「県農林総合技術センター」では、農産物の加工について研究が進められていますが、ここの連携についてはどのように考えておられますか。

答弁：吉村博雄経済部長

「山口市らしい特産品」～先日公募、現在審査中～

特産品の開発支援については、平成 12 年度から実施しており山口市の文化や歴史を活かした商品の開発を支援しております。

これまで支援した商品の中には、県の奨励賞を受賞された斬新なデザインの大内人形などもあります。

22 年度の対象は、阿東地域も含めて公募し、市民から寄せられたアイデア作品を現在審査中であります。

「観光ブランドの創設」は、温泉や特産品と連携する事業を商工会議所「山口市観光ブランド戦略会議」を設置し、その運営を委託することとしておりますが、本市の歴史や文化を活用し、温泉や特産品と融合・連携した事業に取り組む考えであります。

「県農林総合技術センター」との連携をより強化に今までもいろいろな機会を通じ、積極的な情報収集に努めております。農林水産の基礎的な資源が豊富な本市の特性を活かし、異業種間の交流、研究機関との連携を深め、付加価値を高めた商品の開発を支援して参りたいと考えております。

## 3. 中山間地対策について

『石油に替わる新しいエネルギーとして「バイオマス」が脚光を浴びています。バイオとは「生物」、マスとは「量」でこれを組み合わせた造語です。新しいものではなく昔からの薪や木炭、それに食品の廃棄物や家畜の排出物などでエネルギー資源となるものです。』

質問：中山間地域資源の活用ということで「緑」調査研究事業としてバイオマスについて調査研究されるようですが、他の市では、すでにこの新エネルギーの活用を展開しています。本市の取り組みが遅いと感じますが、これからどのような調査をされるのでしょうか。

答弁：中村憲行総合政策部長

～森林バイオマスの消費を通して林業の振興を～

森林バイオマスの消費を通して林業の振興を都市と農山村を有する本市の特性を活かし、都市部が積極的に森林バイオマスを消費すると共に都市部の経済活力を活かして森林の荒廃防止や林業振興に向けた取り組みの調査研究を進めます。

質問：中山間地域の活性化ということで当該地区の農林業等に 1 年間

従事する若者を受け入れる計画がありますが、どのような効果を考えていますか。

答弁：安光賢治中山間地域活性化担当理事

～串地区に都市の若者を受け入れ、  
地域住民と遊歩道の整備や情報発信を～

新年度に「地域活力サポート事業」として徳地串地区に都市部の若者を 1 年間受け入れる予定にしています。串地区では住民自らが天神の滝周辺の遊歩道整備や地域資源を活用した都市との交流事業を手がけておられます。これらの事業を体験して頂くと共に情報を発信して貰うことで地域活性化の一端を担って頂くことにしております。また受け入れ地域の皆さんも若者の新たな視点により地域資源を見直され自信を得られるなどの効果も期待されます。

## 4. 障害者自立支援の促進について

質問：障害者が住み慣れた地域で安心して暮らすためには一般企業に就労することが最適ですが、どのような実態でしょうか。また、就労の場の確保について市はどのように取り組んでおられますか。

答弁：益本道健康福祉部長

～一般企業で障害者の雇用 1,157 人、  
平成 16 年から 223 人の増～

山口公共職業安定所の資料ですが、市内に於ける一般企業での障害者の雇用は、従業員 56 名以上の企業 107 社で 1,157 人となっております。これは、平成 16 年に比べると 223 人の増加です。今後も引き続き一般企業への就労を促進するため今年度設立しました山口市地域自立支援協議会の就労部会を中心に支援して参ることにしております。また、本市としましても、この協議会と連携しながら商工団体等に障害者雇用の推進を働きかけて参ることにしております。

